

立正大学哲学会 2018 年度春夏大会シンポジウム

『心という難問』



心という難問

心
という
難問

日時 2018年7月7日(土) 15時30分～

場所 立正大学品川キャンパス 9B21 教室

【解題】 野矢 茂樹 氏 (本学文学部教授)

【提題】 竹内 聖一 氏 (本学文学部准教授)

木村 史人 氏 (本学文学部専任講師)

【司会】 板橋 勇仁 氏 (本学文学部教授)

2017 年第 29 回和辻哲郎文化賞を受賞した野矢茂樹著『心という難問 空間・身体・意味』は、我々が普段生きているこの場を「眺望論」、「相貌論」という二つの立場から、懐疑論に陥ることなく裏付けようとする、野矢哲学の現時点での到達点といえる著作です。この度、野矢先生の立正大学哲学科への赴任を記念し、『心という難問』をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。ご関心のある方は、ぜひご来場ください。

※来聴歓迎 入場無料 入退室自由

学外の方もご参加いただけます。

問合せ先: 立正大学文学部事務室(03-3492-8791)

立正大学文学部哲学科共催。

Facebook < <https://www.facebook.com/risphilo/> >